

ヒト幹細胞を用いた臨床研究を前提とした死亡胎児利用についての論点

倫理面における問題点

- ① 胎児の生命を犠牲にすること
- ② 中絶の意思決定への影響
 - 経済的理由による中絶誘発のおそれ
 - 死亡胎児を研究利用に用いることによる罪悪感の軽減
 - インフォームドコンセントに伴う中絶誘発のおそれ
 - 使用可能な組織の採取と保存を目的とする中絶誘発のおそれ

心理面における問題点

- ① 中絶時の女性の心理状態への配慮
- ② 死体を研究対象として取り扱うことへの心理的抵抗

問題点に対する対応等

- ① ヒト胚細胞利用とは違うのではないか。(生命的萌芽をつぶすわけではない。)
- ② 中絶の意思決定への影響
 - 無償性を担保するべき。
 - インフォームドコンセントの時期を考慮するべき。
 - 業務上堕胎のおそれがある。
- ③ 中絶時の女性の心理状態への配慮
 - リサーチコーディネーターの設置
- ④ 死亡胎児への礼意の保持

ヒト幹細胞を用いた臨床研究における死亡胎児利用の今後の方針について

- 指針に強制力を持たせることはできないので、死亡胎児の利用について最低限の規制を設けるべきではないか。
- 何らかの方法で委員会として利用の可否についての考え方をまとめるべきではないか。